



札幌支部 支部長  
酒 勾 桂 子

令和7年新春を平穏の中に迎えること、北海道会員の皆様にご心よりお慶び申し上げます。

日頃より札幌支部事業へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度を振り返りますと、会務のいろいろな場面でのデジタル化が手探りではありますが確実に進んでおります。支部会員に対して各部のイベントの告知、感想の収集方法、市民の方々がホームページ上から相談したい行政書士を検索できる会員検索システム、コロナ禍定着したZOOM会議があげられます。

さらにもう一つあげると、四支部合同研修会です。札幌支部が幹事支部として行いました。エスコンフィールド誕生までの知られていない地元行政と中央省庁の交渉のやり取りは、参加された方々には「やり遂げる仕事の姿勢」が、強烈な印象となりました。

また、札幌支部は社会貢献活動へ積極的に関わり「北1条通りクリーンアップ大作戦」を3回実施、秋の交通安全の旗振り活動は行政書士の仕事に「自動車登録」「庫証明申請」「運送業許可」等の自動車交通と関わりのある業務があることから、数年前より実施しています。どちらも本会マスコットキャラクターたくまくんの黄色い法被を本会よりお借りして活動しました。

これからが寒さ本番です。コロナウイルス、インフルエンザの感染に十分気をつけていただきたいです。人の集まる場所マスクは離されません。

結びに、今年一年の皆様のご健康とご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



空知支部 支部長  
齋 藤 哲 也

あけましておめでとうございます。

北海道行政書士会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご挨拶とともに、現在までの支部の活動と現状についての報告、令和7年以降の方針と展望についてお伝えいたします。

まず、支部の活動と現状についてご報告いたします。現執行体制2年目となり、引き続き研修会の開催や広報活動などに取り組んでまいりました。昨年より正式に参加させていただきました四支部合同研修会では当支部より9名の会員が他支部会員との懇親を図ることが出来ました。今後もより多くの会員の参加を目指し努力を続けてまいりたいと存じます。

令和7年以降の展望といたしましては会員数の減少を危惧しております。昭和63年の120名をピークに年々減少し、昨年ついに80名を切る事となってしまいました。会員の高齢化による廃業をカバーするには新しい会員の増強が不可欠です。支部役員一同、知恵を出し合い取り組んでいく所存です。

もちろん、支部の発展には更なる会員皆様の協力と参加が必要ですのでよろしくご祈念申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とますますのご発展を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

